

科目名 (英文表記)	ビジネスワークショップ (Business Workshop)						
科目区分	ビジネスワークショップ	単位数	2 単位				
担当教員名	旗本智之・小林敏彦・手島直樹・ 玉井健一・(非) 井馬智行	ナンバリング	MBA_W_BW 6511				
授業の内容及び方法： 次頁以降に記載							
授業の目的： <p>本授業はこれまで履修した授業科目、とりわけ実践科目で習得した知識とスキルを総合的に駆使して、個人レベルでケース分析、ビジネスプラン作成を行うことにより、より体系的な分析能力を向上させることを目的とする。授業におけるディスカッションを通して、各個人のケース分析、ビジネスプランの成果物を練り上げることに重点を置く。ここで作成したケースレポート、またはビジネスプランの成果物は「リサーチペーパー」での発表を経て、最終レポートとして提出される。到達目標はこれまで学んだ知識やツールを的確に使用し、MBAディグリーホルダーに相応しい最終レポートを仕上げることにする。</p>							
使用教材： <p>参考文献：小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのビジネスプランニング（改訂版）』同文館出版、2012年。 小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのケース分析（三訂版）』同文館出版、2020年。 小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのビジネスプランニング手法』、2010年。</p> <p>上記以外の参考文献については、授業において、適宜、紹介する。</p>							
成績評価の方法： <p>以下の点に基づいて成績評価を行う。</p> <table border="0" data-bbox="279 1384 1034 1473"> <tr> <td>課題</td> <td>60%（最終レポート及び事後課題）</td> </tr> <tr> <td>授業への参加度</td> <td>40%（発表・ディスカッション等）</td> </tr> </table> <p>なお、評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。</p>				課題	60%（最終レポート及び事後課題）	授業への参加度	40%（発表・ディスカッション等）
課題	60%（最終レポート及び事後課題）						
授業への参加度	40%（発表・ディスカッション等）						
履修上の注意事項： <ol style="list-style-type: none"> ① 実践科目を履修済みであること。 ② 5時限を超えて欠席すると自動的に不可となる。 ③ 定期試験の時間分を含めた形で行うため、モジュール4の授業は通常通り、10:30～17:40の時間帯で行う。 ④ 課題の締め切りおよび守秘義務は厳守とする。 							